

所管課分析シート

※ 団体の設立目的を再確認し、存在意義・独立性の観点から見直しを行うためのシートです。今後の関与の方向性を整理するために記入してください。

令和6年7月1日 現在

1. 外郭団体に対する現状分析

所管課名	観光・国際交流	部 区	観光政策	課	担当者名 (連絡先)	豊島 (32609)	所管する団体名	(公財)新潟観光コンベンション協会
団体に求める 姿、取り組み	新潟市における観光及びコンベンションの振興を推進することにより、地域経済の活性化と、新潟らしい地域文化の向上に寄与していただきたい。							
市の関与	直接的関与				間接的関与			増減の理由
	出資、出捐	300,550		千円	事業費補助金	89,180		千円
	派遣、兼務職員	常勤	2	名	非常勤	18	名	指定管理業務（公募）
	運営費補助金			千円	施設			千円
	指定管理業務（非公募）			千円	施設			千円
	随意契約			千円	件			千円
	その他							
現状分析 (評価に関する観 点の整理)	存在 意義	団体の設立目的について（設立目的は達成されていないか）		市及び市民への貢献度について（設置目的に対する役割を果たしているか）		市直営事業との整理はできているか（事業の重複はないか）		事業活動の代替性について（民間事業者が類似事業を行えるか）
	独立 性	団体の自立的経営について（ヒト・コスト面で自立しているか）		団体独自の経営努力について（コスト面・サービス向上など）		随意契約の状況（競争性・透明性のない随意契約がないか）		課題への取組状況
団体の必要性	①新潟独自の文化を生かした観光コンテンツの充実および訪日外国人の受入強化②広域的な連携による国内外からの誘客③MICE誘致の推進を3本柱とし、交流人口の拡大による地域経済活性化に貢献している。 国内外からの観光客や、コンベンション開催の需要に迅速かつ機動的に対応しており、当該団体の存在は不可欠である。							
他団体との 統合の可能性	無し							
今後の 関与の方向性	<input type="checkbox"/> 関与の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 関与の縮小 <input type="checkbox"/> 関与の廃止				【左記とした理由】 観光誘客及びMICE誘致により、さらなる地域経済活性化を図るため。			
その他 (次年度へ向けた 課題など)	新潟市観光情報館（時の旅人館）について、現在、観光として有効活用できていないとの指摘あり。建物の老朽化も進んできており、解体に向けた調整が必要。事務局の入居している建物は新潟地下開発の所有だが、令和7年10月の会社解散が決定しており、それに向け、同年春を目途にテナントの退去を求められている。							

2. 外郭団体に対する改善指示事項への所管課としての関わり

No.	団体が抱える課題*	改善に向けた所管課の具体的な取り組み	関わったことによる成果	(未解決の場合) 今後の方針
1	首都圏からのアクセスや都市機能を生かした都市型コンベンションの誘致など新潟市の特性や強みに焦点を当てた取組みを強める方策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・「MICE誘致補助金」等を協会に交付することにより、協会がコンベンション誘致等のセールスを行う際の強力な武器となっている。 ・企業を対象にした様々な支援事業などの情報を、協会を通じて賛助会員に共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は172件・95,652人のコンベンション・MICEが開催された。 ・賛助会員283団体に情報提供を行った。 	
2	自主財源の増加につながる賛助会員の獲得のため、会員のメリットの充実やPRを積極的に行うことが望まれる。			
3	「MICE誘致補助金」や「外国人観光客宿泊奨励補助金」といった補助金は、コンベンション誘致の極めて強い後押しとなっていることから、コロナ禍対応の各種助成を見直すなど、誘致に寄与する補助金に転換していく必要がある。			
4	新規会員の獲得による自主財源の確保など、財政運営の安定化につながる取組みが必要である。			
5				

※外郭団体評価調書の「6. 経営改善状況（個別の取り組み）」に記載された「改善指示事項」が対象となります。